

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 21年 9月 10日 午後 7時 00分から午後 8時 55分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 井出守雄委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、木下幸光委員、清住章雄委員、小山洋江委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、増子カオリ委員、松井幸夫委員、松代典之委員、依田せつ子委員(欠席者2名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犂山産業観光課長、桜井建設課長、近藤健康福祉課長、伊藤教育事務所長、下城市民環境係長、小相澤農林振興係長、児玉地域政策係長、掛川主任
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年 10月 6日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 副会長あいさつ(小山副会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 会議事項
- ・部会による協議
- (副会長)部会にわかるる前に、事務局で部会での検討事項の案を作っていたので、説明をお願いしたい。
- (地域振興課長) - 部会検討事項(案)について説明 -
- (副会長)それでは、それぞれの部会にわかれて協議をお願いしたい。部会終了後は流れ解散とする。
- ~地域振興部会・市民生活部会にわかれ、「武石地域の公園化」について協議~
- 【地域振興部会での主な協議内容】~主に公園化構想の理念について協議~
- ・武石地域の公園化構想については、地域協議会が中心になり、自治会や地域住民に働きかけていく必要があるため、まずしっかりとした目的や理念を掲げることが重要ではないか。
 - ・このような事業には自治会が中心となり取り組んでもらうことになると思うが、地域づくりに継続して取り組んでいけるような体制に変えていくことが重要である。
 - ・公園化の問題点として、空き家や荒廃した田畑など荒廃地をどうしていくかやごみのポイ捨てや不法投棄の問題がある。景観を美しくするだけでも地域が公園のようになるのではないか。
 - ・具体的な内容の協議については、自治会長やさまざまな文化・スポーツ団体も招集した方がよいのではないか。
 - ・今回は、部会ではなく全体で協議を行いたい。
- 【市民生活部会での主な協議内容】~主に地域に植栽する花木について協議~
- ・地域協議会では全体像を提案。観光地化が目的ではなく、地域住民が心とむような地域づくり(公園化)が望ましい。

- ・地域に植栽する花木については、なるべく開花時期が長く、山間部としての特性を生かし、開花時期が市街地とずれるものがよい。
- ・トガ（イチイ）の生け垣は、新たな植栽ではなく今あるものを大切にしていくという観点でよい。
- ・花桃が全地域に広がる景観づくりがよい。武石公園のツツジ復活については市が取り組んでいく。

それぞれの部会ごとに閉会